

大学改革支援・学位授与機構シンポジウム

「NPO×大学生による地方創生」 住みよいまちづくりのための草の根活動



NPO法人タウンモバイルネットワーク北九州
植木 和宏

NPO法人TMN北九州「法人概要」

代表者
住 所
構成員

植木 和宏

(2017年2月1日現在)

〒802-0001 北九州市小倉北区浅野2丁目14-2

事務局社員 53名 (社員9名、ジョブシェア社員44名)

(内)自転車整備士 2名 安全教育指導員 10名

賛助会員・ボランティア会員：68名

■ JR小倉駅新幹線口
リーガロイヤルホテル1階



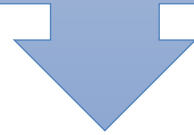
NPO×大学生による草の根地域活動

大学生がNPOでインターンする意義

受入当初

事務作業などの「就業体験」を学ばせた

「させられている感」、「やらされている感」



自ら課題を設定、実践するプロジェクト型へ

「やってみたい!」、「なぜ、どうして?」

「当事者意識」、「知的好奇心」を創出

⇒ **自ら学ぶ機会**の場を提供

インターン大学生の「特徴と学び」

「やることの目的化」脱出のための3ステップ

何のために？

NPOではミッションが大事ということを学んでもらう
＝社会的課題は何か？を発見する

どのような手段

「学生らしさ」にこだわった面白い提案を集める

社会的インパクト

やること＝ゴールではなく、やったことでどんな効果があったか検証させ、報告させる

大学生による発案「実践事例」



Keeple 活動

Keep × people ⇒ 自転車をキレイにするひと

Key × people ⇒ 鍵をかけるひと

Keep × left ⇒ 自転車の左側通行を守る人

警察から、「刑法犯罪は、自転車盗難から始まる」という講話を聞き、放置自転車などの啓発と、二重ロックも一緒に呼びかけよう！

わたしが、
命名しました♡

北九州市立大学
牟田 彩華 さん



大学生による自転車問題の「現状把握」

【学生たちからみた小倉のまち】



まちの人は困っていないのかなあ？

「私たち（学生）がまちにできることは？」

Keeple活動の実践「啓発内容」

日 時 : 毎月第一金曜日の朝7:30~8:30
毎月第三水曜日の夜6:00~7:00

場 所 : 中心市街地（「小倉駅」周辺や商店街）を巡回



自転車の整理



ゴミ拾い&声かけ



放置自転車の台数調査



張り紙を貼る

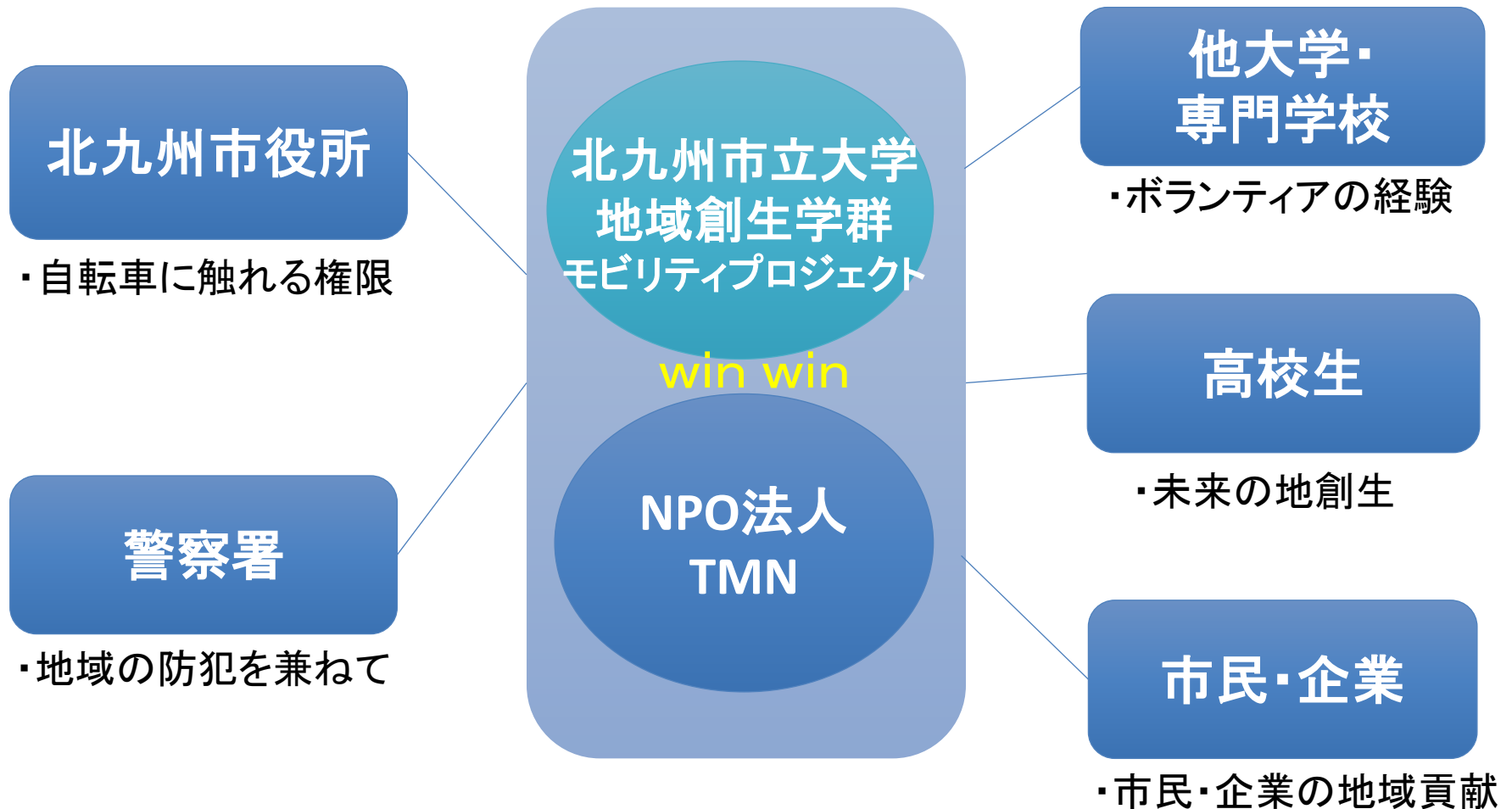
ポイント！
学生目線での啓発グッズの作成



小倉駅周辺の主要な駐輪場マップ

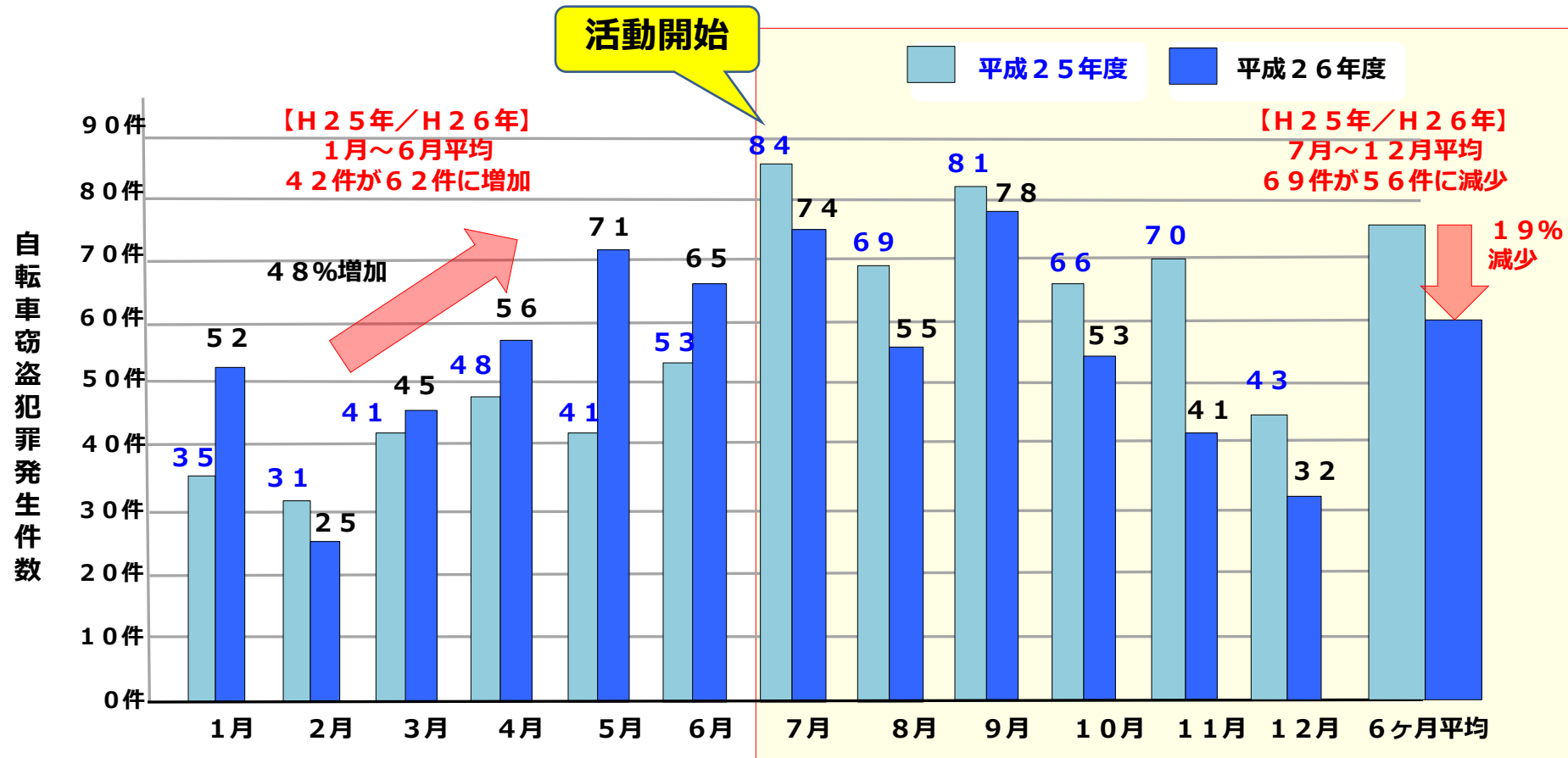
8

Keeple活動の相関図「協働連携」



Keeple活動の成果「社会的インパクト」

「近年増加傾向にあった自転車盗難(窃盗犯罪)が減少」



※自転車盗難「窃盗犯罪」の発生件数は、毎年増加傾向にあったが、平成26年7月のキープル活動をキッカケに減少傾向に転じ、特に小倉都心部では32.2%と大幅に減少した。

連携実習の成果「アドボカシー」

提言①自転車収容するための絶対数が足りない。
提言②利用しやすい場所に駐輪場がない。

学生主導にて「Keepleフォーラム」を開催



今までの調査結果を基に、地域の方、警察関係者、行政関係者と一緒に話し合いの場をつくり、具体的な駐輪場所を検討。

実践から得た学びをまちづくりへ！